

平成 29 年 11 月 2 日

平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果

豊能町教育委員会

はじめに

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するとともに、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、平成 19 年度より実施されています。

今年度は、平成 29 年 4 月 18 日(火)に悉皆調査として実施され、本町は、全小学 6 年生(4 校 117 名)、全中学 3 年生(2 校 147 名)が参加しました。

調査内容は、教科に関する調査(国語、算数・数学)、生活習慣や学習環境等に関する調査が実施され、教科に関する調査は、主として「知識」に関する問題(A 区分)と「活用」に関する問題(B 区分)に分けて行われました。

【1】全体概要



小学校は、国語、算数とも A 区分(知識)において、府の平均正答率を上回ったものの国語は A、B 区分(活用)とともに全国の平均正答率を下回りました。算数は A、B 区分とともに全国の平均正答率を上回りました。
中学校は、各教科どちらの区分においても、府、全国の平均正答率を上回りました。

※但し、本調査において測定できる学力は、特定の一部です。

〔小学校〕 各教科区分の平均正答率(%)

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
区 分	知識	活用	知識	活用
豊能町平均	74.0	57.0	80.0	47.0
大阪府平均	72.0	54.0	78.0	45.0
全国平均	74.8	57.5	78.6	45.9
問題数	15 問	10 問	16 問	13 問

〔中学校〕 各教科区分の平均正答率(%)

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
区 分	知識	活用	知識	活用
豊能町平均	81.0	78.0	77.0	56.0
大阪府平均	75.0	69.0	64.0	46.0
全国平均	77.4	72.2	64.6	48.1
問題数	33 問	9 問	36 問	15 問

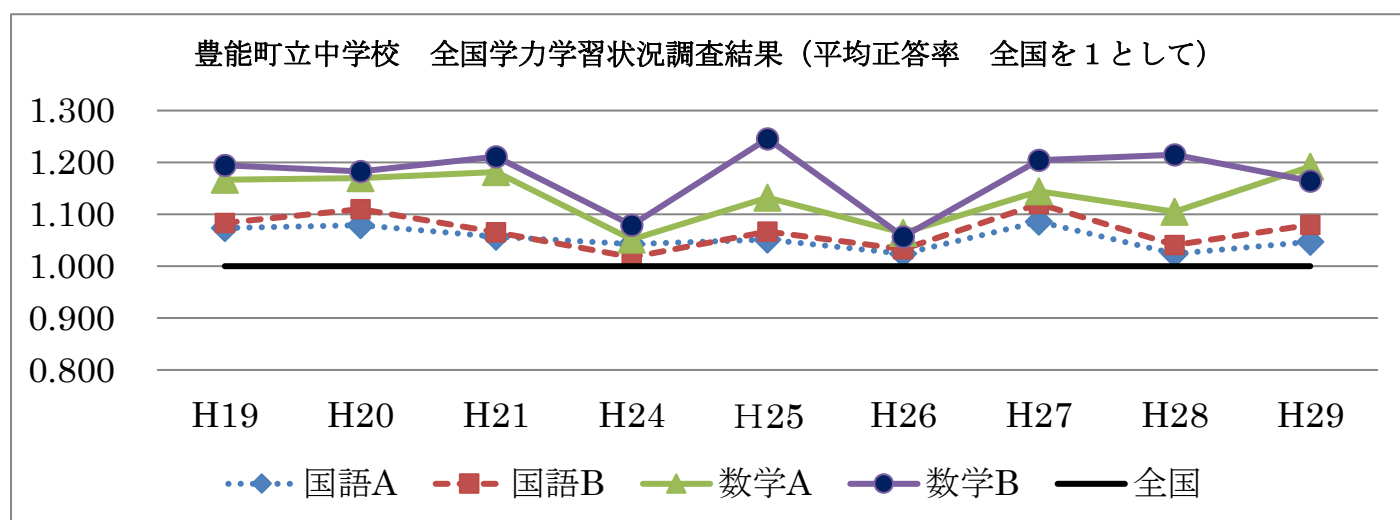
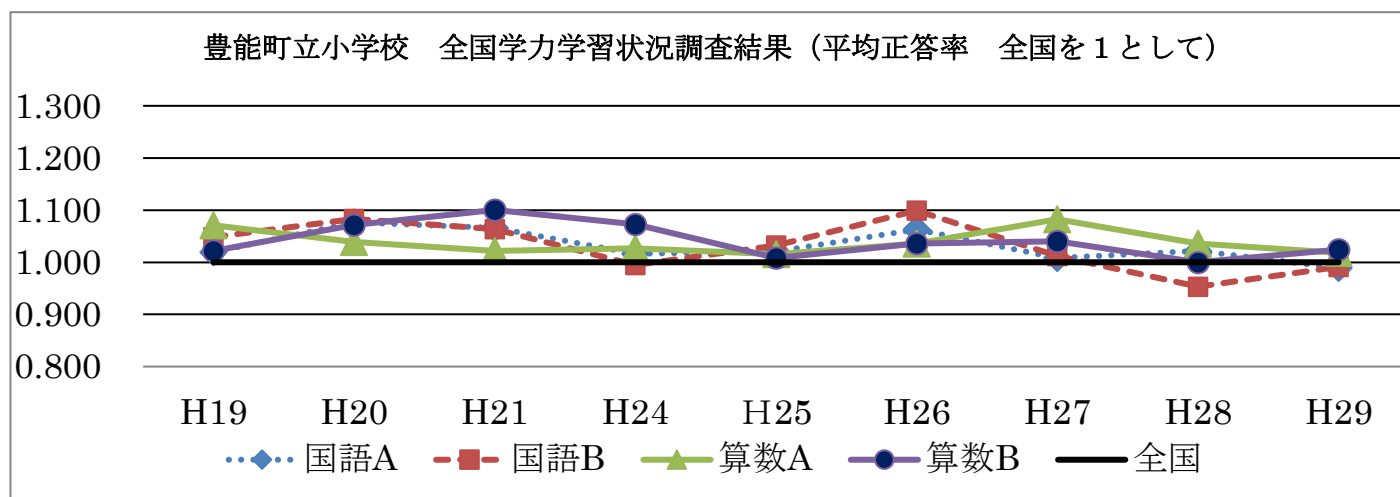
次ページの折れ線グラフは、全国の平均正答率を 1 としたときの本町の各教科ごとの平均正答率の平成 19 年度から 9 回分の推移です。

年によって多少上下はありますが、全国を 1 として、小学校で -0.05 ~ +0.1、中学校では -0.02 ~ +

0.25 の間で動いています。今年度は特に中学校の数学 A 区分（「知識」に関する問題）の平均正答率が全国平均正答率より 12.4 ポイント上回り、高い正答率となっています。

<H19 年度からの平均正答率の経年変化を表すグラフ>

* 平成 22 年度は抽出調査のためデータがありません。平成 23 年度は震災のため中止となりました。



しかし、小学校国語は昨年度に比べ、B 区分は若干上昇傾向だったものの、A 区分は下降傾向にあり、引き続き国語の力に課題が伺えます。A、B 区分（「知識」「活用」に関する問題）ともの平均正答率が全国に比べ 0.5～0.8 ポイント下回りました。

【2】成果と課題

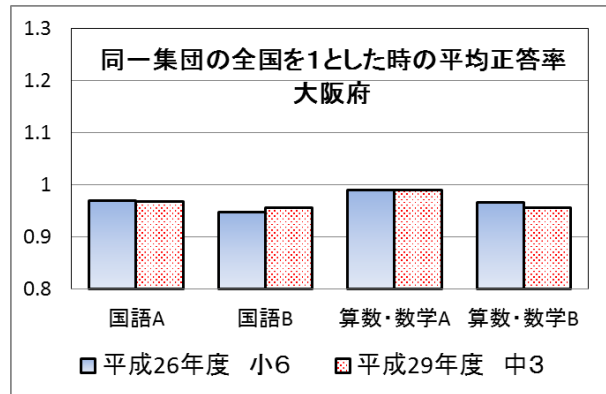
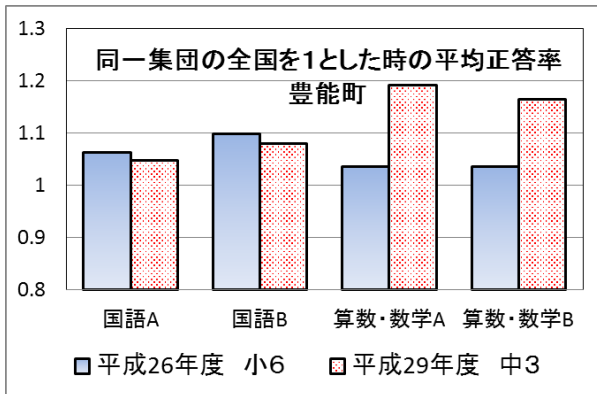
同一集団で比較すると小学校から中学校での 3 年間で学力の向上が特に数学で見られます。しかし、関心・意欲や思考力・判断力・表現力など見えない学力をどのようにつけていくかが課題です。



3 年前小学校 6 年生であった集団と今年度中学校 3 年生（同一集団）の平均正答率を比べてみました

大阪府全体では、平均正答率の変化は小学校と中学校であまり大きくは変わりません。しかし、本町で

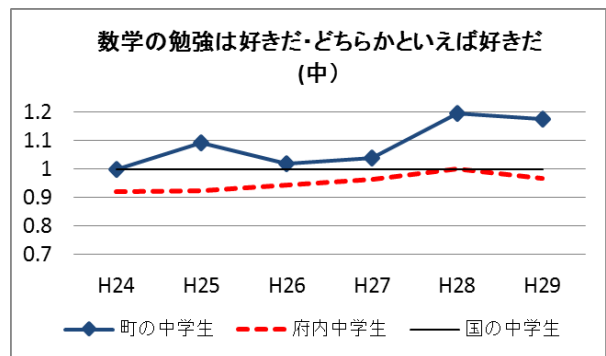
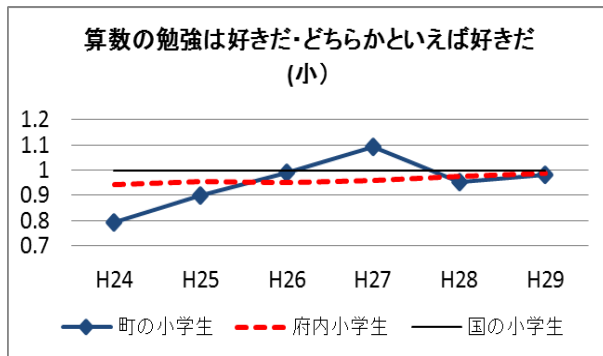
は、同一集団の平均正答率が小学校から中学校にかけて特に数学で大きく伸びていることがわかります。小学校で身につけた基礎基本の力を中学校でさらに伸ばすことができていると考えられます。



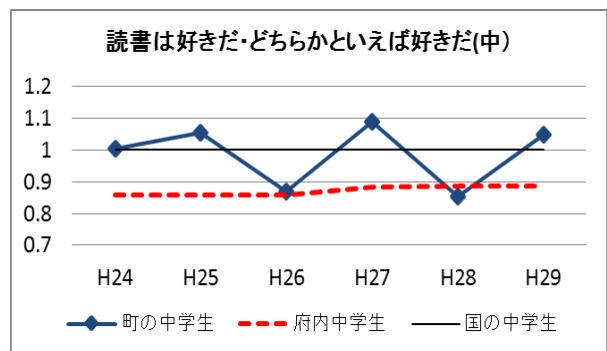
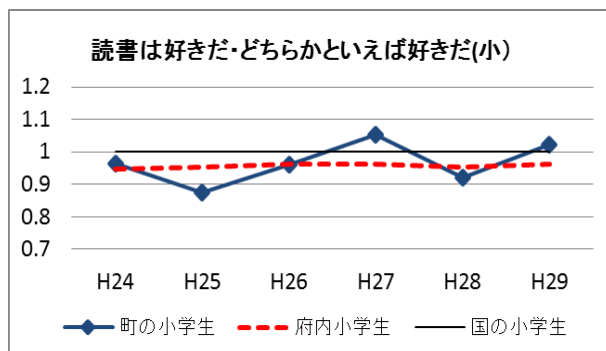
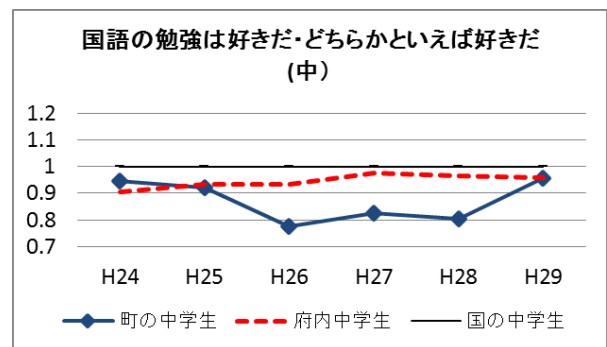
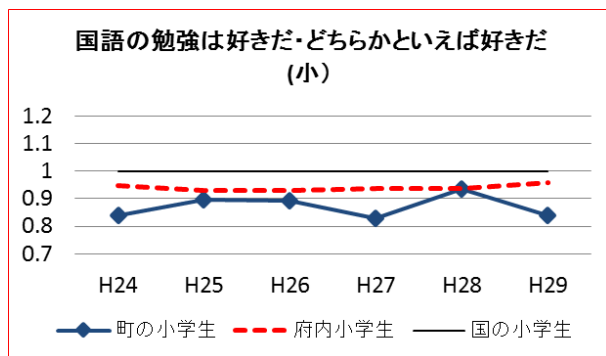
(左側のグラフは本町の比較、右側は大阪府のものです)

＜今年度の児童生徒質問紙より＞

児童生徒質問紙の結果から教科の勉強に対する姿勢や興味・関心との関係が見えてきます。



「算数・数学の勉強は好きですか」の質問に対して全国を1とした場合の最近6年間の豊能町と大阪府の経年変化グラフの波形をみると、本町は肯定的な回答が増加傾向にあります。今年度の中学生の回答を小学生時と比較すると、昨年度に引き続き、1.0から1.2まで上昇し、興味・関心の高まりと平均正答率の向上が比例関係にあります。



一方、国語の勉強に対しては過去6年間の推移を見ると、中学校ではやや改善が見られますが、肯定的な回答が国や府よりも低い傾向が続いています。また、読書についての項目では、年によって変動はありますが、今年度は、小学生、中学生とも「読書が好き・どちらかといえば好き」の回答が昨年より上回りました。国語B区分の問題では、資料や文章を読み取って自分の考えを表現する力が求められます。漢字や語彙など基礎的な知識に加えて、文章を読み取り、自分の考えや意見を的確に表現できる力をつける学習が引き続き必要です。

*平成29年度の調査問題は以下の文部科学省のホームページに掲載されています。

国立教育政策研究所 <http://www.nier.go.jp/16chousa/16chousa.htm>

【3】児童生徒質問紙より (豊能町学力向上プラン評価指針項目より)

「授業づくり」「学習習慣」「学習規律」の3つの項目について、関連する質問を挙げてみました。これからこの3つの項目について「学校、保護者、地域」で協働してさらに伸ばしていきたいと考えています。



*各項目について、全国を1としたときの豊能町と大阪府の4年間あるいは6年間の経年変化です。

ポイントUP

特に改善が見られた項目

(小学校) 授業の中で目標が示されている・自分の考えを発表する機会がある

(中学校) 授業の中で目標が示されている・授業の最後に振り返る活動・学校のきまり(規則)を守る

ポイントDOWN

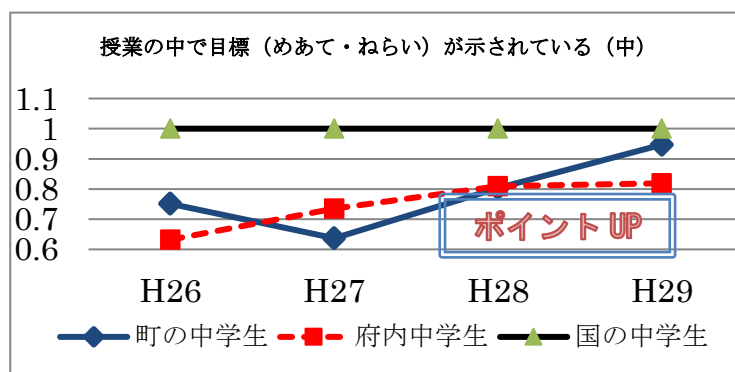
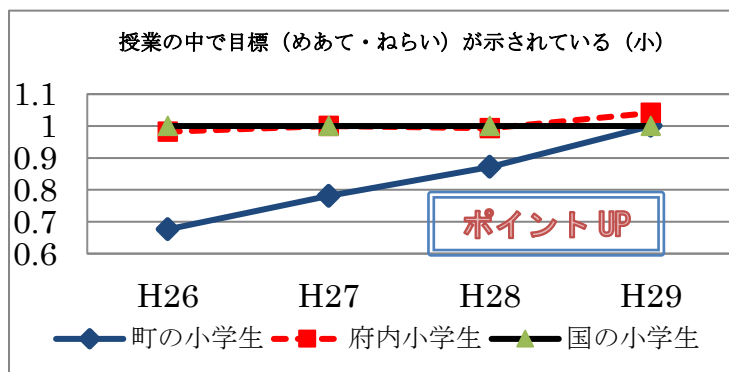
より努力が必要な項目

(小学校) 授業の最後に振り返る活動・自分で計画を立てて勉強・学校のきまり(規則)を守る

(中学校) 自分で計画を立てて勉強

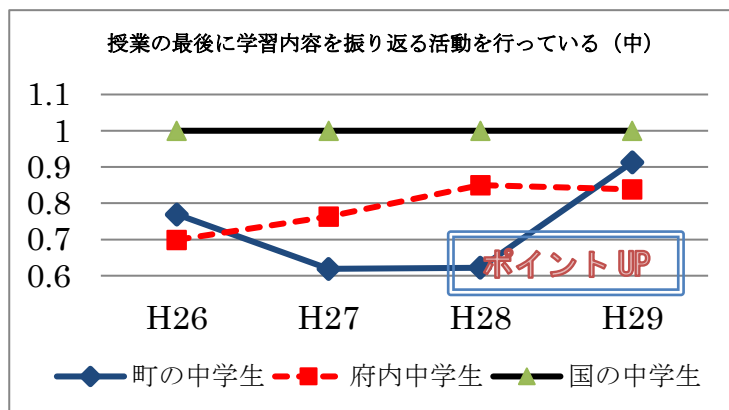
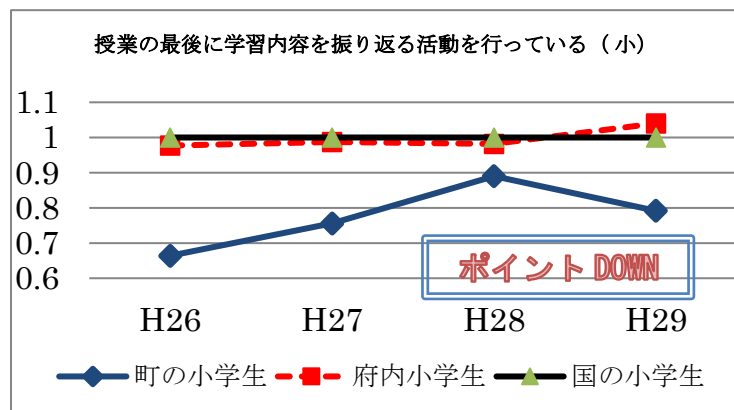
(授業づくりにかかわる項目)

○授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか



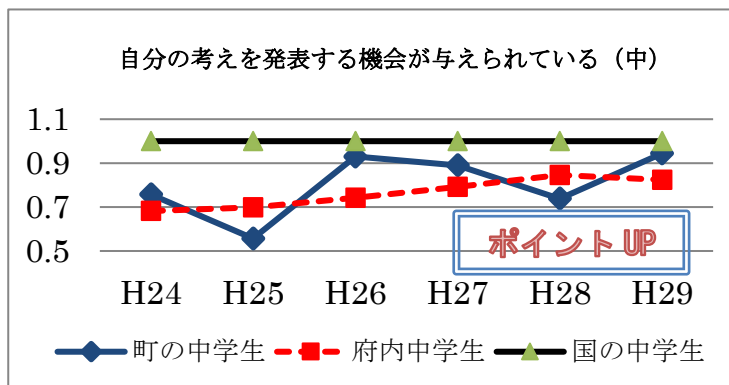
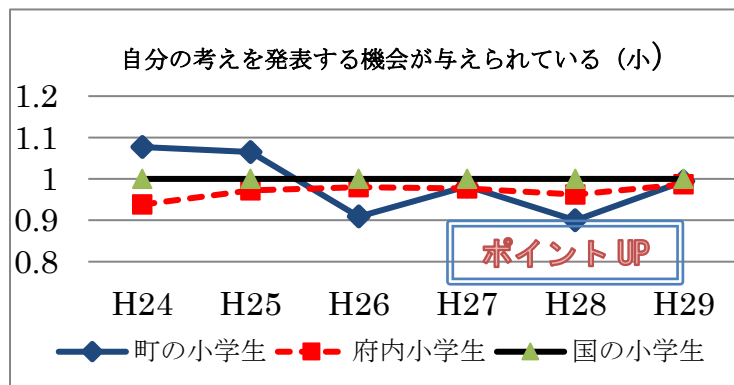
子どもたちにとって「わかりやすい授業」づくりを進めてきています。その中で、授業の初めに「めあて・ねらい」が示されると自分が何を学習しているのか、何がわかればいいのかのわかりやすくなります。先生方の努力で授業改善が進み、ほぼ全国平均に近づいてきましたが、さらなる推進が必要です。

○授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか



授業の最後に「学習内容の振り返り」活動を入れることによって、子ども自身が学習した内容をもう一度確認したり、学習した内容を深く掘り下げたりすることができます。そうすることで、次の学習活動への関心・意欲にもつながっていきます。特に中学校での取組み改善見られました。小学校でもさらなる改善を進めていきます。

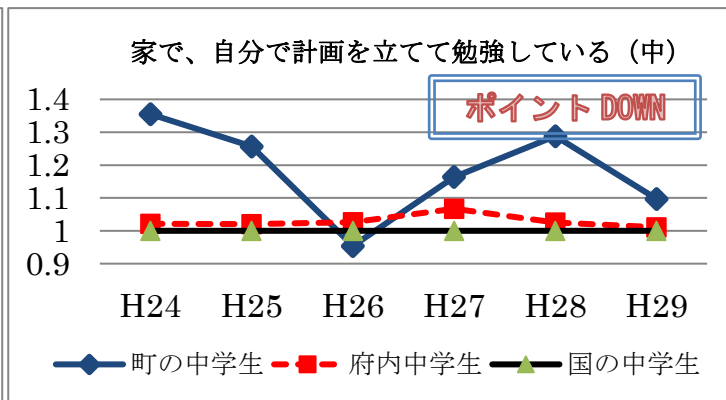
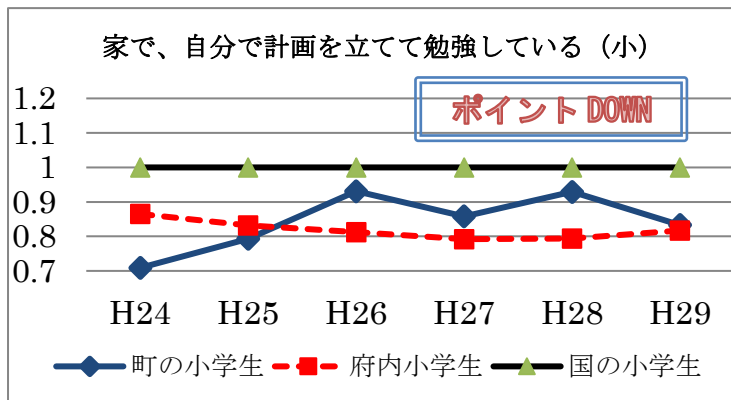
○授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか



「子ども主体の授業づくり」の改善がどれだけ進んでいるかを見ることができます。小学校、中学校ともに昨年に比べて、ポイントは伸びており、ほぼ全国平均とかわらない状態になってきました。さらなる取り組みを進めて、子どもたちが自分の考えを出しながら、学び合える授業づくりを推進していきます。

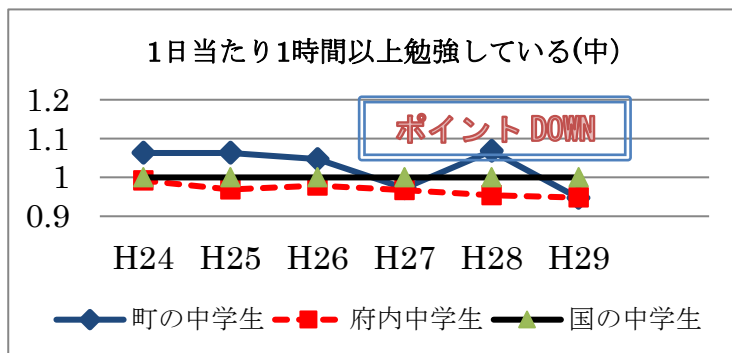
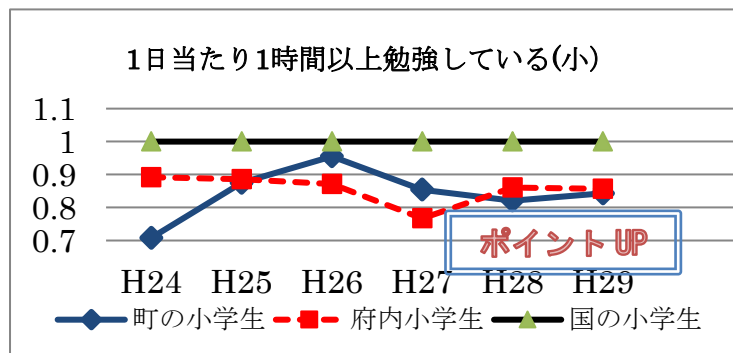
(学習習慣にかかわる項目)

○家で、自分で計画を立てて勉強していますか



この項目については、毎年変動はあるものの、小学校、中学校ともに昨年度に比べて、ポイントが下回っています。家で学習（宿題等）はしているが、自分で計画を立てて勉強をしたり、弱点を補充するような勉強をしたりするところまでは至っていないのではないかと推察されます。学校・保護者や地域の皆様と協働して、自分で計画を立てて勉強する活動をさらに推進していきたいと考えています。

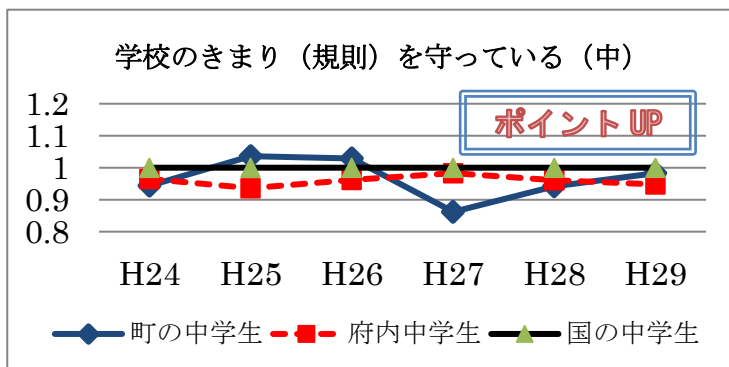
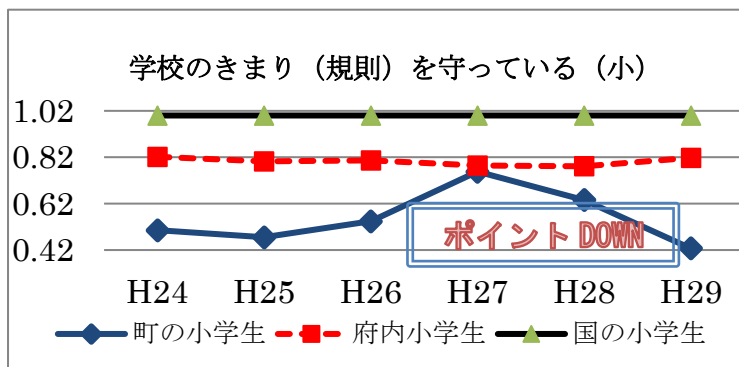
○学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



学校以外に1日当たりどれくらい勉強しているかを聞いており、表には1時間以上勉強している子どもの推移を載せています。そのほかの時間帯も同じような傾向で、全体的に学習時間が横ばい状態の傾向があります。ただ、これも学年によって、多少上下する傾向がありますので、学校、保護者、地域の皆様と協働して取組んでいかななくてはならないと考えます。

(学習規律にかかわる項目)

○学校のきまり(規則)を守っていますか



この項目については、小学校は以前より課題になっており、今年度も全校平均を下回っています。中学校は昨年度に比べてポイントは上がっていますが、全国平均には至っていません。単に規範意識が育っていないと捉えるのではなく、子どもたちがきまりについてどうとらえているのかについて着目し、町全体で取り組んでいく必要があると考えています。

【4】課題克服のための今後の取り組み 【豊能町学力向上プランより】

豊能町 学力向上プランの基本方針を推進していきます

危機感を持って、学力向上に取り組む

1. 授業力の向上

(次期学習指導要領を見据えた授業改善・授業力向上)

2. 全校的・組織的な学力向上の推進

3. 新教育課程・ICTの活用研究

4. 学習習慣・学習規律の育成

計画的・組織的・継続的

重点的な取り組み

○指導方法の工夫改善

○学力向上指導員の配置

○豊能町授業スタンダードの作成

○ICTを活用した授業研究

○まなび舎事業の拡充

○家庭教育との連携

